

高き志【にころざし】

目指す学校像

地域とともにある

勢いのある学校

No. 29 (R元. 12. 4発行) 文責 校長 福田雅也

地域の教育力

先日、本校の保護者でもある地域の方から学校に次のような電話があったそうです。「学校の近くの道路で横に広がって登校している子どもたちがいて危ないです。私からも注意をしましたが、学校でも指導をお願いします。」

すぐに、登校班の担当者や高学年担任、教頭等が事実を確認するとともに、該当の子どもたちをしっかりと指導しました。

「地域の教育力」という言葉があります。今回の場合、学校に知らせていただいた方は、その場でしっかりと子どもたちを注意していただいています。このことが大きな意味をもつと思います。これが正に地域の教育力なのでしょう。学校、保護者、そして地域の方々が同じような気持ちで子どもたちを育てていくことができれば、きっと大きな効果があるだろうと考えるのです。

先日のことがあって、以前、ある温泉地で経験したことを思い出しました。

その日は休日で、夕方からちょっと足を延ばして、県北にある源泉掛け流しの温泉地へ行きました。福岡県から訪れる人が多く、泉質もやわらかくてけっこう人気がある温泉地です。そこで、とても微笑ましく、そして、興味深い場面に出会ったのです。

この時は、観光客向けのおしゃれな浴場ではなく、昔からあり、地元の人も入っておられるような浴場を選びました。そろそろあがるかと考えながら、湯船につかっていたところ、幼い姉妹が二人で入ってきました。まだ、お父さんは脱衣所におられるようでしたが、二人で先に入ってきたのです。たぶん、お姉ちゃんの方が3～4才くらいで、妹さんの方は2才になったくらいのように感じました。すると、お姉ちゃんの方が、見ず知らずの私に、かわいい声で「こんばんは」と挨拶をしてくれたのです。あわてて私も「こんばんは」と挨拶を返したところ、妹さんの方も、またかわいい声で「こんばんは」と挨拶をしてくれました。挨拶を返しながら、私はとても微笑ましく温かな気持ちになりました。すると、その後入ってこられたお父さんも、見ず知らずの私に「こんばんは」と挨拶をされたのです。ちょっとした温かい触れ合いに、この温泉に入りこめてよかったなと感じながらお湯からあがりました。

一足先にあがってロビーで待っていた妻にその話をしたところ、興味深い話を返してくれました。それは、その二人の姉妹が受付にいた年配の女性と交わしたやりとりです。

ご両親と一緒に来たその姉妹が、受付の前を通ろうとしたところ、「あら、〇〇ちゃん(お姉ちゃんの名前)、ご挨拶は？」とその女性が話しかけられたそうです。すると、お姉ちゃんの方が「こんばんは」と挨拶をし、その後「〇〇ちゃん(妹の名前)はまだ、小さいから挨拶ができないの」と答えていたそうです。しかし、妹さんの方もしっかりと「こんばんは」と挨拶を返したそうです。

先程の湯船での場面とこの話が、私の中でしっかりとつながりました。

それに加えて、思い返してみたところ、もっと興味深いことに気づきました。私が温泉に入っている間に、その親子以外に3人程の人が入ってこられました。そのうち、2人の方が、私に挨拶をしてくださったのです。たまたま行った温泉地で挨拶をされることはあまりないので記憶に残っていたのです。その方々同士が、湯船の中で親しげに世間話をされていたことを考えると、きっと地元の方なのだと思えます。先程の親子も、受付の女性が名前をご存知だったので、やはり地元の方であることは間違いありません。

「地域の教育力」を実感することができた場面でした。この日の、これらの場面は、まさにこの温泉地の方々をもっておられる「地域の教育力」なのだと思えます。もちろん、挨拶だけが教育ではありませんが、この地には「地域の方々が集う場所」があり、地域の方々、地域の宝である子どもたちをしっかりと教育されているのです。今回の場合、その教育が直接の言葉だけではなく、「大人の後姿」で行われているのだろうということも感じられました。この地で育つ子どもたちは、本当に幸せだなあと感じた場面でした。

私たちの高木校区、御船町も、今まで以上に「地域の教育力」を発揮していきたいものです。